

きぬた



2023年5月1日
社会福祉法人多摩福祉会 砧保育園
世田谷区祖師谷4-3-17
03-3483-1950

「ほいくえんにあそびにあってあげなきゃな～。だってそつえんするとき〇〇せんせい
がくれたてがみに、またあそびにきてねってかいてあったからさ～。いってあげないと
かなしんじょうでしょ！」（新1年生の言葉）

と話していたということで、今日の夕方本当に遊びにきてくれました！
みんな大喜びで抱き着いて歓迎していましたよ！

こどもの日

5月5日は「こどもの日」ということで、毎年子どもの権利を考える機会としています。私が感銘を受けたデンマークサッカー協会の「少年指導10カ条」をご紹介しますね。

1. 子どもたちはあなたのモノではない。
2. 子どもたちはサッカーに夢中だ。
3. 子どもたちはあなたとともにサッカー人生を歩んでいる。
4. 子どもたちから求められることはあってもあなたから求めてはいけない。
5. あなたの欲望を子どもたちを介して満たしてはならない。
6. アドバイスはしてもあなたの考えを押し付けてはいけない。
7. 子どもの体を守ること。しかし子どもたちの魂まで踏み込んではいけない。
8. コーチは子どもの心になること。しかし子どもたちに大人のサッカーをさせてはいけない。
9. コーチが子どもたちのサッカー人生をサポートすることは大切だ。しかし、自分で考えさせることが必要だ。
10. コーチは子どもを教導くことはできる。しかし、勝つことが大切か否かを決めるのは子どもたち自身だ。

デンマークでも以前は大人が厳しく指導することが一般的な時代があり、その反省を土台に生まれたのがこの10カ条という経過があるとのこと。まだまだ体罰を伴う指導が根強く残る日本のスポーツ界。度々問題になり、指導者が逮捕されたという報道も目にします。この問題は、本質的には不適切保育と同様の問題があると感じています。それは、「大人が望む子ども像を、子どもに押し付けてしまう」ということです。そこに子どもの主体的な思いや権利を尊重するという意識はほぼなく、人格を否定してしまうことになりかねません。それでは自己肯定感を高めるところか「大人の指示通りにしていればいい」という潜在意識を育ててしまい、指示待ち人間になってしまうのではないかと危惧しています。人を育てる上で何が最も大切なことなのかを、社会全体で立ち止まって考える必要があるのではないのでしょうか。

砧保育園では、「大人も子どもも人として平等」という価値観を共有しています。大人の思いを押し付けるのではなく、子ども自身が「どうしたいのか」に耳を澄ませ、自分の人生を選び取っていけるよう、自己決定していける生活の保障を大切にしています。

<5月の予定>※状況により変更あり。

- 9日（火） 端午の節句 異文化交流
- 10日（水） 0歳児健診
- 11日（木） 春の遠足
- 12日（金） 造形
- 16日（火） 避難訓練
りすのおうち懇談会
- 18日（木） ひよこのおうち懇談会
きぬたん（園庭遊び）
- 24日（水） きぬたん（赤ちゃん広場）
- 26日（金） 造形・らいおんプール掃除
- 31日（水） 誕生会
わらべうた（幼児）



<6月の予定>※状況により変更あり。

- 1日（木） プール開き
- 6日（火） きぬたん（赤ちゃん広場）
- 8日（木） 歯科検診・歯の学習会
- 9日（金） 造形
- 14日（水） 異文化交流
- 15日（木） 避難訓練
にじのおうち懇談会
- 20日（火） 1・2歳児面談（～7月7日）
- 22日（木） 誕生会 お泊り懇談会
- 23日（金） わらべうた（乳児・幼児）
造形
- 27日（火） わらべうた（乳児・地域）
- 28日（水） きぬたん（水遊び）
- 29日（木） きぬたん（モグモグ離乳食）

散歩時見失い事故 その後について

4月24日（月）に散歩時見失い事故についての説明会を開きました。当日はリアル参加、リモート参加を合わせて20名程度の方にご参加いただきました。ありがとうございました。急遽の設定でしたので、お仕事のご都合がつかずやむを得ずご欠席された方もいらっしゃるかと思います。今回の件につきまして、ご意見ご質問等ございましたら事務室へお声掛けください。

当日も説明会を実施した理由をお知らせしましたが、ご参加いただけなかった方にもご理解いただければと思い、改めてお伝えさせていただきます。当該クラス以外の保護者の方々にもお知らせすることで、「不安を高めてしまうのではないか？」という考えもありました。しかしながら、起こったことは事実としてお伝えし、その上で今後どのように対応していくのかをお示しすることで、結果的に安心していただけるのではないかとという考えに至り、実施させていただきました。説明会の後に「安心しました」「誠意を感じました」「気苦労が多いかと思いますがよろしくお願ひします」等、励ましの声も届けていただき、本当にありがたかったです。

また、全体説明会の前に当該クラスの懇談会でお伝えした際にも、職員に直接お声掛け下さったり、連絡帳に励ましのメッセージを届けて下さったりと、本当にあたたかく支えていただけて感謝しかありません。今回の件につきましては、責任を追及されるような事態となるのでは…と、正直かなり緊張して過ごしていましたが、実際そのような声は一つもありませんでした。このようにあたたかく支えていただけていることに感謝しつつも甘んじず、今後このような重大事故が起らないよう職員一同努めてまいります。しかしながら、縮こまり過ぎてしまっても子どもたちに必要な生活保障ができなくなってしまいます。そのような側面も併せて意識しつつ、引き続き「子どもにとっての最善」を追求していきたいと考えています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。